

● スコアリングカテゴリー ●

- **カテゴリー1:** 患者は現在の治療でコントロールできている。現在行われている最善の治療と、専門家としての判断や臨床ガイドラインに基づいて、治療を続けてください。
- **カテゴリー2:** 患者は現在の治療ではコントロールできていないことが考えられます。しかし、経口薬治療の最適化により改善がみられる可能性があります。この段階ではデバイス補助療法は必要ないと考えられますが、患者の病歴、希望治療、そして医学的判断から勘案して検討してください。
- **カテゴリー3:** 患者は現在の治療計画ではコントロールできていないことが考えられ、デバイス補助療法により改善がみられる可能性があります。患者の病歴、希望治療、そして医学的判断から勘案してデバイス補助療法の適応を検討してください。

● セクション1のスコアリング ●

現在の経口薬でコントロールできているかのスクリーニング

- レボドパの1日の服薬頻度が5回以上ある
- 1日のオフ時間が2時間以上ある
- 予測できない運動症状の日内変動がある
- 日常生活で困るジスキネジアがある
- 一人では満足にこなせない日常生活動作が1つ以上ある

セクション1の**全ての質問**に「いいえ」で回答した場合、**カテゴリー1**に分類されます。

セクション1の質問の回答に1つでも「はい」と回答した場合、セクション2に進みます。

セクション2スコアリング

発生頻度に関するスコアリング

- 0 一切なし/一度もない
- 1 めったにない (週に1回以下)
- 2 たまにある (週に数回程度)
- 3 (ほぼ) 常にある (毎日)

重症度に関するスコアリング

- 1 軽度
- 2 中等度
- 3 重度

自立度レベル(日常生活動作)

- 0 すべての活動において自立
- 1 ほとんどの活動において自立
- 2 補助を必要とする/一部の活動において介助を必要とする
- 3 すべての活動において全面的な介助を必要とする。

1か月間での転倒回数

- 0 0回
- 1 1回
- 2 2回以上

- セクション1においてレボドパ服薬回数を3回以下と選択、かつ他の質問のいずれかに「はい」と選択(例:1日のオフ時間が2時間以上ある、予測できない運動症状の日内変動がある、日常生活で困るジスキネジアがある、一人では満足にこなせない日常生活動作がある)した場合:症状の発生頻度/重症度にかかわらずカテゴリー2に分類される。
- セクション1においてレボドパ服薬回数を4回以上と選択、かつ他の質問のいずれかに「はい」と選択(例:1日のオフ時間が2時間以上ある、予測できない運動症状の日内変動がある、日常生活で困るジスキネジアがある、一人では満足にこなせない日常生活動作がある)した場合:次ページ以降のカテゴリー分類アルゴリズムを使用する。

セクション1においてレボドパ服薬回数を4回以上と選択かつ

以下のドメインの(頻度X重症度)スコアが3以上:

- 運動症状の予測不能な日内変動*
- オフの際に起きる非運動症状
- オフの際のすくみ足
- 病識のない幻覚や精神症状

結果=カテゴリー

3

以下のドメインの(頻度X重症度)スコアが3未満:

- 運動症状の予測不能な日内変動*
- オフの際に起きる非運動症状
- オフの際のすくみ足
- 病識のない幻覚や精神症状

結果=カテゴリー

2

以下のドメインのスコアが2もしくは3:

- オフ時間*
- 日常生活で困るジスキネジア*
- 日常生活動作への障害*

結果=カテゴリー

3

*これらの質問にセクション1で「いいえ」と回答していた場合、セクション2の質問はスキップされます。

セクション1においてレボドパ服薬回数を4回以上と選択かつ

以下のドメインのスコアが2未満:

- オフ時間*
- 日常生活で困るジスキネジア*
- 日常生活動作への障害*

結果=カテゴリー

2

以下のドメインのスコアが1もしくは2:

- 転倒

結果=カテゴリー

3

以下のドメインのスコアが0:

- 転倒

結果=カテゴリー

2

*これらの質問にセクション1で「いいえ」と回答していた場合、セクション2の質問はスキップされます。

注:「衝動制御障害」「苦痛を伴うジストニア」の結果は治療の参考にのみ使用し、頻度と重症度のスコアはカテゴリー分類には用いません。